御前山ビオトープ通信

令和７年８月11日
第６７号

発行：御前山ダム環境センター
メール：　denen21@ktb.biglobe.ne.jp
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ：　http://www7b.biglobe.ne.jp/~noasobi/

目次

１．御前山ダム湖桜ウォーク
２．御前山小学校田植え
３．春のビオトープ育成活動
4．自然観察会
5．２０２５親子フェスタ（新規イベント）

1．御前山ダム湖桜ウォーク

令和７年４月１２日（土）、第１１回目となる御前山ダム湖周辺を歩く会を実施しました。県外からの参加者も含めて１９７名（うち会員４０名）となりました。常陸大宮市長にも参加を頂き、今後の御前山ダム周辺の事業についても話がありました。天気にも恵まれ、参加者から景観も良く、整備されていて約６ｋｍの距離なんてあっという間だった。秋の紅葉の時季にも開催してもらいたいなどの話を聞きました。また、会員が心を込めて準備した軽食に皆さん大満足のようでした。

参加者

開会式

2．御前山小学校田植え

田植え風景

無事終了

５月１４日（水）は御前山小学校５年生の田植えが行われました。今年の５年生は１８人です。
初夏の爽やかな晴天で９時過ぎにバスで到着。田植え靴に履き替えるのに四苦八苦する子供、短パンかジャージか準備も大変です。歓迎挨拶や田植えの説明を受けて、恐る恐る田んぼに入ります。尻餅で泥だらけになる子もいましたが、集落の皆さんの丁寧な指導で何とか完了しました。

3．春のビオトープ育成活動

前日の関東地方は大雨で心配しましたが、6月４日（水）当日は晴れて、むしろ熱中症が心

参加者

御前山ダム湖絶景

配となるほどでした。 関東一円から 60 名以上の参加者があり、駐車場が手狭で苦労しました。

今回は 6 班に分けて作業開始しました。1 班はベンチと案内板補修、2 班は取水口の澪筋変更、3 班は池の漏水補修、4 班は林間希少種保全、5 班は湿田希少種保全、6 班はダム湖周辺山桜枝払い　などで、午前中に無事作業は終了しました。

5 月 7 日（水）夕方、NHK 地方版「いば 6」において、茨城絶景として「御前山ダム湖周遊道路」が紹介され、御前山ダム環境センター青山会長が案内役を務めました。以来、かなり多くの人に知られるようになり、来訪者が増えてきました。入り口に絶景ポイントの看板も設置され、6 月 4 日のボランティア活動の後に歩いてみました。この時期は、新緑の森の中からダム湖に青空が映り、確かに素晴らしい景色でした。

4. 自然観察会

階段教室

御前山小学校５年生１８名と先生３名、会員１６名が参加し、午前９時から１２時まで実施しました。今年度も御前山ダム環境センター会員の栗田耕太郎に自然観察会の先生をお願いして実施しました。

小川の中を観察

３名ずつ６班に分かれ、それぞれに会員がリーダーとして付き、ビオトープ内を自由に採集して周りました。カエルやヤゴ、どじょうなどたくさんの生物をみつけることができました。中には条件付特定外来生物に指定されたアメリカザリガニが数匹おり、栗田先生から特定外来生物とはどういうものなのかの説明もあり、生徒たちは熱心に話を聞いていました。

その話を聞いた上で、一人の生徒は自分たちでつかまえたザリガニなので最後まで世話をしたいとのことで、持ち帰りました。

5. ２０２５親子フェスタ（新規イベント）

このイベントの趣旨は「親、会員は手をださず、子供たちが自分で積極的に動き、上下関係なくみんなで協力してつくる」です。時間内に完成しなかった・・・という結果でも良いという気持ちで取り組んでいます。面倒見の良いスタッフばかりなので、ついつい手を出してしまいそうになってしまうので、お互いに注意しながら、極力子供が中心になるように心がけています。このようなイベントを通じて子供たちの経験値を増やし、考える力や創造力を育んでいければと思っています。

そーめん流し

カレーライスつくり